

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 11 月 2 日現在

機関番号：82702

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2011～2015

課題番号：23320147

研究課題名(和文) 金沢文庫古文書及び称名寺聖教紙背文書の復元的研究

研究課題名(英文) Research on combine Kanazawabunko komonzyo and Shomyoji shougyo shihaimonzyo on detabese

研究代表者

永井 晋 (nagai, susumu)

神奈川県立歴史博物館・企画普及課・企画普及課長

研究者番号：00443408

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 14,300,000円

研究成果の概要(和文)：「重要文化財 金沢文庫文書」4149通について、その本文の校訂、年代推定、紙背文書を利用した関連文書群の復元を行い、「重要文化財 称名寺聖教」との接続の関係をあわせて考察し、称名寺収蔵資料群の一群としての金沢文庫古文書の資料的価値を定める努力を行った。その成果は、「金沢文庫文書検索システム」としてデータベースを構築し、インターネットでの公開をめざしたが、接続のための環境整備が調わず、金沢文庫図書室でのスタンドアローンとしての公開となった。データベースでは、古文書本文・書誌情報・画像(古文書表裏)を金沢文庫図書室で公開した。

研究成果の概要(英文)：“Kanazawabunko monzyo(金沢文庫文書)” and “Shomyoji Shougyo (称名寺聖教)” is a group of Shomyoji Temple owned cultural assets. Shomyoji Shougyo (称名寺聖教) was reuse papre, remain the documents behaind. This historical records was find at Shomyoji nioumon(称名寺仁王門). This research try to combine two historical records on detabase. Therefore research to Shomyoji Temple owned cultural assets become electronic deta, on detabase.

研究分野：日本中世史

キーワード：古文書学 金沢文庫古文書 データベース 称名寺聖教

1. 研究開始当初の背景

重要文化財「金沢文庫文書」と重要文化財「称名寺聖教」は、称名寺仁王門に置かれた一組の長櫃の中から発見された資料群で、この長櫃に保管されていた聖教には数多くの紙背文書が残っていた。昭和5年から開始された金沢文庫の文化財調査では、聖教の分類と紙背文書の解読が平行して行われ、紙背文書の重要性を重視して古文書の形態で保存することに決定したものと、聖教の重要性を重視して書物として保存することに決定したものに分かれることになった。

平成2年を重要文化財を目指して行われた「金沢文庫文書」の目録作成調査では、古文書本体のデータをより精緻なものにすることと、古文書を編年する上での基準となる紙背にある聖教の特定が行われた。また、平成18年の重要文化財指定を目指して行われた「称名寺聖教」の目録撮影調査では、聖教本体の書誌情報を整理すると共に、「称名寺聖教紙背文書」の写真撮影で作成されたデータの統合がはかられた。

今回の調査では、古文書と聖教という別の分野で進められていた調査の統合を図り、昭和5年に発見された時のように一群の資料群として扱えるようにデジタル上で情報の統合をはかることにある。

2. 研究の目的

重要文化財『金沢文庫文書』4149通（平成27年6月に「称名寺聖教・金沢文庫文書」として、重要文化財『称名寺聖教』と統合して国宝指定）は、称名寺に伝来した聖教の紙背文書、権利に絡む証文、称名寺の経営に関わる宗教関係文書などから形成されている。この文書は昭和5年に称名寺仁王門から発見された資料群の一部で、重要文化財『称名寺聖教』（本科研採択時）と緊密な関係を持ったものである。今回の調査

は、『金沢文庫文書』と『称名寺聖教』の関連性がわかるデータベースを構築し、文書と聖教を統合して活用できる研究環境を構築することにある。

3. 研究の方法

『重要文化財 金沢文庫文書目録』・『重要文化財称名寺聖教目録』で整理されたデータをもとに、パソコン上でデータの統合を図ると共に、未翻刻文書の翻刻など、金沢文庫文書の全文フルテキストを作成し、検索をかける条件をととのえる。

4. 研究成果

計画書提出時はインターネットでの公開を目指していたが、ネット上で公開する条件が整わず、金沢文庫館内に設置したパソコンでの検索システムとして運用を始めることとした。

データベースの概要

1) 対象とした資料

重要文化財「金沢文庫文書」4149通

2) 入力した文字情報

それぞれの文書について、本文フルテキスト、文書の書誌情報、紙背に書かれた文書・聖教の書誌情報

3) 入力した画像データ

それぞれの文書について、文書本紙及び紙背が白紙でない文書裏面

*文書の裏面には、表面に関連する文書の情報、他の文書の写、聖教、書き込みなど、いろいろなケースがある。

2) 検索に対応する情報

・古文書表面及び紙背聖教の書誌情報は、全文テキスト検索。

・文書・聖教の書誌情報に関するデータ・カードは、全文テキスト検索。

・同データベースに入力された聖教を一括で検索するには、聖教名を入力する。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計26件)

- ・永井 晋「金沢貞顕と鎌倉の茶 中世都市鎌倉の喫茶に関する一試論」(真鍋俊照編著『密教美術と歴史文化』法蔵館平成23年)
- ・永井 晋「建保二年の園城寺回禄及び嗽訴について 柴田芳明氏所蔵本「園城寺牒状及興福寺返牒等」の分析から」(『金沢文庫研究』327 平成23年)
- ・永井 晋「赤橋殿壇所」(『鎌倉考古』11号 鎌倉考古学研究所 平成23年)
- ・西岡芳文「初期真宗門流の展開」(大遠忌記念出版『仏光寺の歴史と文化』編集委員会編 平成23年)
- ・西岡芳文「龍華寺聖教に見える中世鎌倉の密教修法の一断面」(真鍋俊照編著『密教美術と歴史文化』法蔵館 平成23年)
- ・西田友広「イェール大学所蔵『元徳二年後宇多院七回忌曼荼羅供記』について」(『東京大学史料編纂所紀要』22号 平成24年)
- ・山家浩樹「大覚寺所蔵『伝授目録 醍醐』」(『室町時代研究』3号 平成23年)
- ・山家浩樹「無外如大伝と千代野伝承の交流」(『アジア遊学』142号 平成23年)
- ・山家浩樹「『延文四年記』記主考」(東寺文書研究会編『東寺文書と中世の諸相』 平成23年)
- ・永井 晋「中世前期の下総国下河辺庄」(古河歴史シンポジウム実行委員会編『古河の歴史を歩く』 平成24年)
- ・永井 晋「中世前期古文書料紙論の現

状と課題」(『日本史研究』607号 平成25年)

- ・永井 晋「下総国下河辺庄の現状と課題」(『民衆史研究』32号 平成25年)
- ・永井 晋「金沢貞顕書状の編年的研究」(『金沢文庫研究』331号 平成25年)
- ・西田友広「醍醐寺座主定済と悪党」(『鎌倉遺文研究』32号 平成25年)
- ・永井 晋「称名寺聖教『聖天 五』紙背文書について」(『東京大学史料編纂所研究紀要』24号 平成26年)
- ・井上和人「『風流今平家』の副題簽と枕本型軍記」(『関東学院大学文学部紀要』129号 平成26年)
- ・西岡芳文「ダキニ法の成立と展開」(『朱』57号 2014年)
- ・永井 晋「鎌倉時代の日元関係を考える 貿易と蒙古襲来」(矢島道文編『互惠と相互交流』 クロスカルチャー出版 平成26年)
- ・井上和人「おもかげ・うつす・やつし 『風流今平家』副題簽による一考察」(『関東学院大学文学部紀要』131号 平成26年)
- ・山家浩樹「鎌倉五山・京都五山と尼五山」(村井章介編『東アジアの中の建長寺』 勉誠出版 平成26年)
- ・永井 晋「高倉宮以仁王の家族と縁者」(『古代文化』66巻4号 平成27年)
- ・高橋悠介「称名寺の千字文説草と杉本寺」(『金沢文庫研究』334号 平成27年)
- ・山家浩樹「日記にみる伊勢国の醍醐寺領」(『三重県史だより』27号 平成27年)
- ・永井 晋「以仁王事件の諸段階 嗽訴から拳兵への段階的発展」(『鎌倉遺文研究』36号 平成27年)
- ・高橋悠介「建治三年の宝珠制作」(『日本仏教総合研究』13号 平成27年)
- ・永井 晋「『鎌倉証菩提寺年中行事』に

みえる天台寺門流の僧侶」(『神奈川県立博物館研究報告 人文科学』42号 平成27年)

〔学会発表〕(計11件)

・永井 晋「シンポジウム 三浦義村と中世国家」(三浦一族研究会大会 平成23年12月10日 於グェル横須賀)

・西岡芳文「広域自然災害がもたらす歴史の断層」(関東学院大学人間環境学部教養学会 平成24年度1月17日 於関東学院大学)

・永井 晋「鎌倉時代の茶の生産・流通・消費」(茶の湯文化学会東京例会 平成24年7月14日 於東洋英和女学院大学)

・永井 晋「中世前期古文書料紙論の現状と課題」(日本史研究会大会個別報告 平成24年10月13日 於立命館大学衣笠校舎)

・永井 晋「下総国下河辺庄の現状と課題」(民衆史研究会大会報告 平成24年12月15日 於早稲田大学)

・永井 晋「金沢貞顕書状の編年的研究」(日本古文書学会招待講演 平成25年9月21日 於関東学院大学関内キャンパス)

・高橋悠介「伝憲深撰『灌頂印明口決』について」(東アジア仏教研究会第23回定例研究会 平成26年5月17日 於大正大学)

・永井 晋「高倉宮以仁王の家族と縁者」(鎌倉遺文研究会例会報告 平成26年5月29日 於早稲田大学)

・高橋悠介「建治三年の宝珠制作」(日本仏教総合研究学会大会個別報告 平成26年12月13日)

・永井 晋「鎌倉時代の日元関係を考える 貿易と蒙古襲来」(関東学院大学国際文化学部発足記念シンポジウム招待講演 平成27年1月31日 於関東学

院大学関内メディアセンター)

・永井 晋「鎌倉幕府高官長井氏について」(東北大学東北アジア研究センター共同研究「典籍文化遺産の研究」・「出版文化資料データベース研究ユニット」主催、長井市教育委員会後援 長井市の歴史がわかるふるさと講座「長井荘の文化と大江長井氏」 於文教の杜ながい 小桜館 旧西置賜郡役所)

〔図書〕(計13件)

・五味文彦・本郷和人・西田友広編『現代語訳 吾妻鏡 10 御成敗式目』(吉川弘文館 平成23年)

・永井晋担当企画展図録『鎌倉密教』(神奈川県立金沢文庫 平成24年)

・五味文彦・本郷和人・西田友広編『現代語訳 吾妻鏡 11 将軍と執権』(吉川弘文館 平成24年)

・五味文彦・本郷和人・西田友広編『現代語訳 吾妻鏡 12 宝治合戦』(吉川弘文館 平成24年)

・西岡芳文分担執筆 武家の古都鎌倉世界遺産登録推進三館連携特別展企画推進委員会『世界遺産登録推進三館連携特別展武家の古都鎌倉』(神奈川県立歴史博物館 平成24年)

・山家浩樹分担執筆『夢窓疎石と鎌倉の禅宗文化』(神奈川県立歴史博物館 平成24年)

・永井 晋・角田朋彦・野村朋弘編『金沢北条氏史料集』(八木書店 平成25年)

・古川元也・永井晋担当特別展図録『こもんじょざんまい』(神奈川県立歴史博物館 平成25年)

・西岡芳文・道津綾乃分担執筆 神奈川県立金沢文庫編『称名寺聖教 尊勝院弁曉草翻刻と解題』(勉誠出版 平成26年)

・山家浩樹分担執筆『合本 支桑禅刹』(小林承鐵編 春秋社 平成26年)

・永井 晋分担執筆『吉川市史 通史編

原始・古代・中世・近世』(吉川市役所 平成 27 年)

・永井 晋 『源頼政と木曾義仲 勝者になれなかった源氏 』(中公新書 2336 号 平成 27 年)

・永井晋・古川元也担当 神奈川県立歴史博物館 『中世東国の茶 武家の都鎌倉 の喫茶文化 』(神奈川県立歴史博物館 平成 27 年)

〔産業財産権〕

出願状況(計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕

・永井晋・道津綾乃・高橋悠介担当 神奈川県立金沢文庫作成 DVD 『武家の都鎌倉と金沢文庫』(金沢文庫・文化工房 平成 25 年)

・神奈川県立金沢文庫 『金沢文庫文書データベース』(平成 28 年)

* 本科研研究成果物

6. 研究組織

(1) 研究代表者

永井 晋 (NAGAI Susumu)

神奈川県立歴史博物館・企画普及課・企画普及課長

研究者番号：00440068

(2) 研究分担者

永村 眞 (NAGAMURA Makoto)

日本女子大学・文学部・教授

研究者番号：40107470

山家 浩樹 (YANBE Kouki)

東京大学史料編纂所教授

研究者番号：60191467

岡本 綾乃 (OKAMOTO Ayano)

神奈川県立金沢文庫主任学芸員

研究者番号：40443410

西田 友弘 (MISIDA Tomohiro)

東京大学史料編纂所助教

研究者番号：90376440

高橋 悠介 (TAKAHASHI Yuusuke)

神奈川県立金沢文庫学芸員

研究者番号：40551520

西岡 芳文 (NISHIOKA Yoshibumi)

神奈川県立金沢文庫学芸課長

研究者番号：90443407

山地 純 (YAMAZI Sumi)

神奈川県立金沢文庫専門学芸員

研究者番号：70176410

井上 和人 (INOUE Kazuto)

関東学院大学・国際文化学部・准教授

研究者番号：30613971

(3) 連携研究者 0 人

()

研究者番号：

(4) 研究協力者

永山由梨絵 (NAGAYAMA Yurie)

日本女子大学成瀬記念館非常勤学芸員

